スマイルネクスト 実践事例

ものが燃えるしくみ

●単元の目標

6年

理彩

 実験などに関する技能を身に付けるとと もに、より妥当な考えをつくりだす力や、 主体的に問題解決をしようとする態度を 育成する。

ノート

本時のめあて
実験結果を踏まえた話し合い
を通して、自分のよりよい考
えをつくりだす。

江戸川区立一之江小学校

●ICT活用のポイント

- 事前に先生が複数ページの教材(ノート)を作成して児童に配付をする。
- ・作業の様子をリアルタイムで見取り、完了した児童には「できた」の合図をさせる

●スマイルネクストの活用機能

スマイルノート
付箋、同時編集、複数ページ作成
課題管理

学習活動 ICT活用 -斉 班で前時の実験を確認する 1. 前時までの振り返りと本時の学習内容を確認する 前時の実験を振り返り自らの予想と結果を確認する。 導入 ちっ素、酸素、二酸化炭素のそれぞれから、もの を燃やすはたらきについてどんなことがわかるだ ろうか。 前時の実験動画をタブレットで参照 して、結果を確認する。 協働 2. 班で実験結果を確認する ・窒素、酸素、二酸化炭素を入れた瓶の中に、火のついたろうそくを入れ 個別 て燃え方を調べた実験結果の記録を班で確認する。 考察内容をまとめる 3. 予想と結果を比較し考察をノートに整理する。 「事実」と「解釈」を適切におさえ、相手意識をもった表現を心がけるよう にする。 展開 4. スマイルノートに考察を書き込み発表する 先生から事前に配付されているワー 予想と結果を比較して考えたことを書き込む。 クシートに考察をまとめる ・電子黒板に一覧画面を表示し、自身の考察を全体に向けて発表する。 いいなと思った友達の考察ノートには、付箋でコメントを書き込む。 - 覧表示で意見を共有 個別 5. 発表を聞き、結論をまとめる スマイルノートに結論をまとめるための2回目の考察を記入する。 まとめ 結論をまとまる。 作業の様子をリアルタイムで見取る。 拡大をして意見の共有も簡単。

• 個人の考察と、話し合いなどの協働学習について自己評価をさせる。

ご スマイルネクスト 活用ポイント

1. 旗を立てて、「できたよ」の合図 2. 直感的なノートの共同編集

活用例

完成したら旗を立てる

考察を書き終えたら右上の旗ボタンをタップして、完成したことを伝える。作業状況がリアルタイムで更新されるため、随時の提出の必要がなくスムーズに学習できる。



児童の作業進捗が一目で分かる

全員の進捗状況が一目で分かり比較できる。 電子黒板に表示してみんなで考察の確認をする。

	0.000	() 単田・男・スマイルマクスト	0 6818H 6/14 (A) /89803-	
A 6412H 6/1		(1)まとめ キノート語和 位音	502 🌲 91080882117	
(1001)		1/3	1/3	
# #16	· 石川 作泉 · 西川 泉子	1 Md. 10	1 XH HX I	
	1/3 1/3 1/3 1/3 1/3 10000000000000000000	1/3	1/3	
TH St	1 1100 M 1 1000 R.M.	1 数井 創堂 1 馬橋 道	1 五四 弘氣 1	
長島 寛太	1 夏井 化板 1 奈良 珠章	I 4234 1251 1 125 12	\$ 1 RA #**	
		1/3	1/3 	
20 116g	1 68111 10月 1 年8 8000	1 12 1876 I 1000 -	ar nou i	-
	1/3 - 1/3 - 1/3 - 1/3	1/3 - 1/2 1/2	旗マークで	
ar sustained and	and a second sec	* 山田 現大 1	完成の合図	

活用例 それぞれの端末から1枚のノートを同時編集

自分の端末から発表を聞いて気になった子のノートへコメ ントを書き込む。付箋には「いいね」ボタンがあるので、 互いの発表を認め、深め合うことができる。



個別学習から協働学習への切り替え

先生の手元のボタン1つで、個別学習モードから協働編集 モードに切り替えることができる。学習シーン毎にアプリ を切り替える必要が無いので円滑な授業運営が可能。



OnePoint

ノートの色を変えることで、2段階の考察が可能

1つの課題(ノート)で複数ページを作成することが可能。 教材準備の際に、ノートの色を変えたページを作成することにより考察のフェーズ分けが視覚的にできる。 一覧表示でも進捗を把握しやすくなる。

